

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

2年 4月 7日

諏訪地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		18	課題区分	C	
実施機関			諏訪地域振興局(林務課)		担当
事業名			諏訪湖カワアイサ対策生態調査事業		所属
					電話
					E-mail
事業の概要等	目的 (目指す姿)	○ 豊かな漁場環境が再生され、ワカサギなどの漁業資源が持続的に利用されている。 ○ 生物多様性に適した湖岸の環境が維持・整備され、多様な鳥類が生息している。			
	現状と課題	諏訪湖に飛来するカワアイサに対しては、水産資源を確保するため、追払い等の対策が実施される一方、希少な渡り鳥であり、保護を徹底すべきとの声が上がっている。 諏訪湖におけるカワアイサについては、学術的な調査が行われておらず、正確な生態(行動、食性及び捕食量など)が不明確なまま、有効な対策を模索する状況が続いている。			
	内容 (変更後の内容)	○令和元年度～令和3年度(3箇年計画) ・令和元年度 日周行動調査(昼間)採餌・休息等 追払い時の群れの分散・集結状況 ・令和2年度 食性調査(魚種、ワカサギ捕食率等) 夜間・早朝行動調査(採餌行為・休息場所等) ・令和3年度 調査結果を踏まえた効果的な追払い方法の検証			
	事業期間	令和元年11月 ～ 令和2年3月			
	成果目標 (成果指標)	諏訪湖におけるカワアイサの生態を明らかにし、魚食被害に対する効率かつ効果的な追払い方法を構築する。それにより、諏訪湖における水産業の振興と野生鳥類の保護との共存を図る。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	調査委託料	カワアイサ日周行動調査	940,000	事業費総額 1,026,000円 (うち 地域振興推進費 940,000円)	
	合計			940,000	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	【カワアイサ日周行動調査】 ○関係者(諏訪湖漁協)から追払い実施状況等の聞き取り調査。 ○定点観察(3定点)4日間。 ・群れの個体数、採餌行為の有無等行動内容、追払い船の接近による群れの行動など。 ・追払い実施時と休止時の群れの行動変化。 ○調査結果のまとめ。(報告書1部) ・追払い船にGPSを搭載。船の軌跡と、観察結果を総合的に考察。(受託者提案、漁協協力)		・当初、追払い中は採餌をせず退避していると予測したが、追払い船接近後、採餌行為を再開するまでの平均時間約15分。追払い中も断続的に採餌行動と群れの移動を繰り返す様子を確認。 ・追払い休止時間帯は、大きな群れを形成する傾向あり。 ・調査日の傾向としては、諏訪湖の中央から東側の範囲に群れが回遊。		● 期待以上 ○ 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	更にカワアイサの生態(夜間の採餌行動、食性(魚種別捕食率)など)を把握し、信州大学諏訪臨湖実験所、環境保全研究所など専門家の助言を得ながら、カワアイサの行動とその対策を関係者(漁協・野鳥の会など)とともに模索し、水産業の振興と鳥類の保護の共存を図る。				